

秋まつり・各種イベントに

和風オードブル **盛り合わせ寿司** **5人前**

会席・寿司・仕出し・各種宴会
いい味、いい出逢い、がある

のみ松屋 お電話でご予約承ります
兵庫県西脇市上野224 西脇市民病院前
営業時間/AM 11:00~PM 10:00(火曜定休)
TEL 0795-22-5458

民家再生十家十色

2011兵庫県人間サイズのまちづくり知事賞受賞
2012LIXILリフォーム部門地域最優秀賞受賞
2014LIXILリフォーム部門総合リフォーム賞受賞

私たちスタッフ一同は、温故知新の姿勢で民家再生に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ致します。

有限会社すぎもと工務店
SUGIMOTO 兵庫県西脇市津万416
TEL.0795-22-5823 URL http://www.sugimotokomuten.com
FAX.0795-22-0085 E-mail: info@sugimotokomuten.com

和味深心

KU YASUKE

昼 1,000円~*11時~14時
夜 1,000円~*17時~22時
*料理おさめは21時30分とさせていただきます *予約優先・不定休

秋のおばんざいを色とりどりに。
ほっとする旬の味を盛り合わせ
★ちょこっとおばんざい御膳 1,000円
★しっかりおばんざい御膳 2,000円

☎0795-22-4817 西脇市和布町188-4 (来住邸より南へ800m)
Find us on Facebook

北はりまの観光情報・特典がギュギュッとつまっています
北はりまがもっともっと好きになる。

北はりま観光パスポート

10/1 販売開始

なんと約 10,000 円も
お得になる特典付です

道の駅北はりまエコミュージアムで販売しています。

北はりま田園空間博物館
(道の駅北はりまエコミュージアム)
〒677-0022 西脇市寺内 517-1 TEL.0795-25-2370
営業時間 9:00~19:00 (11月~2月は 18:00 まで)
ホームページは「北はりまでんくう」で検索

来住邸ギャラリー 作品展の予定

西脇市制10周年記念 来住邸特別企画Ⅳ
ものづくり集落 大門三隣保「地三知笑」展
10月1日(木)~12日(祝月)

地域、三隣保、知遇、笑顔の頭文字をとって「地三知笑」。頓智の利いたタイトルもユニークな大門集落三隣保の作品展です。

小林明美 似顔絵展 増田節子 陶芸うつわ展

10月15日(木)~30日(金)

モノクロ写真のように細密な鉛筆画の似顔絵と布のような質感と温かみを持つ焼き物……。ほっこりとした時間が流れる二人展です。

森川桂石 書作展

11月1日(日)~15日(日)

西脇市制10周年記念 来住邸特別企画Ⅴ
森川桂石さんの書の世界に浸れる15日間。

まゆの花 播州織フライングアート 大久保裕美 トールペイント コラボ展

12月2日(水)~13日(木)

西脇北高等学校 第4回東日本大震災現地ボランティア活動写真展
12月16日(水)~27日(日)

北高生が自らの言葉と写真で「東北の今」を伝えます。

クラフト三人展

染織 平谷悠律子
木工 永瀬浩之
つるクラフト 永瀬水晴
7月2日(木)~14日(火)

▲本来の木の色を大切に、たくさんの木を集め、寄せ木にして作品を創作。

西脇高社会部 来訪 6月23日(火)

来住家に伝わる甲冑に目を見張る生徒さんたち。歴史を体感!

しばざくらフルールさんより 花の贈り物

6月28日(日)

お花の寄せ植え、とってもきれい♡ いつもありがとうございます。

西高生が1日シェフ

7月31日(金)~8月1日(土)

生活情報科の生徒さんが、「梅吉亭」で日頃の勉強の成果を発揮! 大好評でした。

山口匡弘(陶芸)・乾善弘(木工) ものづくりの二人展

6月17日(水)~30日(火)

丹波市で自給自足の暮らしを営む二人の作家さん。心の豊かさ、温かさが作品からにじみ出ています。(は)

西脇市制&多可町制10周年記念 来住邸特別企画Ⅰ 7月16日(木)~31日(金) 齋藤公志郎×ごとうみのるコラボ展

ごとうさんの味わい深い書と齋藤さんの爆笑似顔絵のコラボは、ほっこりしながらもインパクト大。数珠つなぎで人と人の繋がりも見えてくる展示に来場者も釘づけに。(かぶたっく)

西高生が就業体験(インターンシップ) 8月5日(水)~9日(日)

生活情報科の生徒さん2人が播州織工房館で様々な仕事を体験。

関西学院大学 来訪 8月5日(水)

学生さん24人が来住邸と工房館を見学。織工の藤本定良さんが播州織を解説。

Photo File

2015年6月~8月
一部ではありますが、西脇TMOの活動を記録写真でご紹介します。

第7回 七夕ゆかた祭り 7月4日(土)

播州浴衣ファッションショーをはじめ、音楽ライブや寄席、体験コーナーなど内容盛りだくさん。浴衣姿って、やっぱりいいものですね。(は)

西脇市制10周年記念 来住邸特別企画Ⅱ 西脇アートフェスティバル2015 8月2日(日)~30日(日)

メイン会場の来住邸には30名を超える作家のアートがずらり! 主催者で画家の小松原ケンスケさんをはじめ、トータス松本さんの作品も。人と人の繋がりをを感じる温かな展示会でした。(まる)

第九話 西脇の発展とともに 歩んできた蓬萊橋

西脇市西脇 藤井 征樹

杉原川に架けられている「蓬萊橋」は西脇市の中心の橋として歩んできた。その原初としての板橋は江戸時代中期、少なくとも1800年前後には幅50程程度で人が一人ずつ歩いて渡るだけの簡単な板橋が架けられていた。それ以前となれば史料がないので推測されたが、渡し舟、さらに徒歩で渡っていたと思われる。

蓬萊橋に関する記述では西脇市郷土資料館に残されている古文書の中には、天保9年(1838)に書かれた寄附帳が最古で当時の多可郡西脇村庄屋徳岡利兵衛はじめ計9名の名でおよそ次のように記されている。

西脇村の西、杉原川に以前から架け渡してきた板橋は、播磨丹波の往来の道筋であるが洪水が出るたびに破損して難渋してきた。この費用には公的資金は出ないので住民からの寄附だけで橋を架けてきた。その建設に膨大な資金が必要なので、西脇村の多数の91軒(天保9年の西脇村は宗門改帳では103軒)からの寄附をはじめ、橋を使用する近隣の住民に寄附を呼びかけた。橋の向かい側の和田村44軒、高田井村33軒と多数の住民から、さらに北は遠く丹波、丹波(現在の丹波市からが多い)、黒田庄、津万、比延地区、多可町中區南部から日野地区、南では重春地区、芳田地区、加東市(新町や滝野が多い)、小野市、三木市、加西市(北条町が多い)、和泉地区からも)、神崎郡さらに高砂、印南郡方面や伊丹、大阪立売堀、京都、さらに遠く筑前、阿波

や伊勢山田の地名が記されており、当時関係のあった広範囲の地域にわたって寄附を集めている。

こうして、長さ四拾間あまり(70尺強)、板幅も二尺四寸(72センチ)、厚さ三寸五分(13センチ)と当時としては徒歩で渡る立派な「永代橋」として完成した。この橋はのち、弘化5年(1848)、文久3年(1863)、明治4年(1871)とおよそ10年ごとに寄附で改修されている。

明治15年(1882)には、牛馬や荷車も共に通れるようにするため、幅九尺(270センチ)、欄干付という当時としては画期的な橋として多くの人々の寄附で架け替えられた。この永代橋の完成を祝って「蓬萊橋」と改称したと記されている。蓬萊橋と親しまれるようになったのはこの時からである。その後、明治42年(1909)には架け替えられている。昭和に入って昭和4年(1929)には、公的な資金が注ぎ入れ、全面改築され鉄筋コンクリート製で幅も大きく広がった近代的な橋として完成した。

昭和36年(1961)には、橋の両側に歩道が付けられさらに拡張された蓬萊橋が竣工した。こうして今日でも西脇市の中心の橋として市民に親しまれている。

▶木造だった頃の蓬萊橋(昭和初年)「西脇市史」より